

地方道路技術開発プロジェクトフェーズ2始動！

2014年5月、タンザニア国地方道路技術開発プロジェクト（フェーズ2）を正式に開始しました。2012年3月～2014年3月に行ったフェーズ1では、県政府の道路維持管理能力と実務的な技術スキルの向上を図るほか、県政府の活動を監督・指導する中央政府の支援・調整機能の強化、モデル県でのパイロット工事などの活動を行いました。

フェーズ2では、これらの活動を更に他地域へ普及させていくことを目指します。具体的には新たに普及県を選定し、パイロット活動を通じて、普及県の県政府、県エンジニアの道路維持管理能力の向上を図ります。また、フェーズ1に行ったパイロット工事を通じて蓄積された経験、結果、教訓を基に、LBTに関する広報パンフレット、ビデオを制作し、積極的な広報活動を行っていきます。さらに、2014年8月にはカウンターパート約10名を日本へ招へいし、3週間の本邦研修を行う予定です。フェーズ2で新たに行う活動は以下の通りです。

- ・本邦研修（2014年8月～9月）
- ・地方道路維持管理に関する広報活動の実施（2014年6月）
- ・地方道路維持管理に関する啓発ワークショップの開催（2014年6月～7月）
- ・普及県を選定（2014年6月～7月）
- ・普及県に対する地方道路維持管理事業の支援（2014年8月から年間を通じて実施）
- ・普及県に対するモニタリング（2014年8月から年間を通じて実施）

今月は、フェーズ2が正式に始動するにあたり、カウンターパートである首相府地方自治庁（PMO-RALG）、州エンジニアに対し、徳永総括よりフェーズ2の活動概要の詳細説明が行われ、続いて関係者による意見交換を実施しました。来月からはいよいよ具体的な活動を開始します。

なお、フェーズ2のプロジェクト専門家チームは以下のとおりです。

- ・徳永達己（総括/道路維持管理計画）
- ・小川基樹（副総括/地方道路計画）
- ・宮本宏一（LBT 設計/構造物）
- ・清水昇（LBT メンテナンス工）
- ・川崎育将（道路設計・道路情報管理）
- ・岡村憲光（建設・契約管理）
- ・嶽石正典（機材管理）
- ・上村和延（組織強化）
- ・平川貴章（モニタリング）
- ・武田由美子（研修企画/業務調整）
- ・胡子豪（広報/業務調整）



モデル県のプロジェクトサイト視察の様子

（RMSD：総括／徳永 達己）